

3次元の形状データがPDFで見られる！

製品概要

『PDF3D』は英国の Visual Technology Services Ltd. 社によって開発された、3次元の形状データをPDFに変換するツールです。

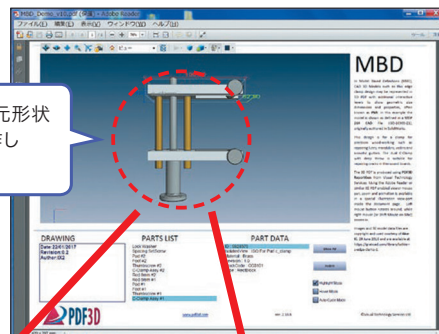


特徴

◆ 3次元の形状データを Adobe Acrobat Reader（無償版）で3次元表示（回転、拡大等）出来ます！

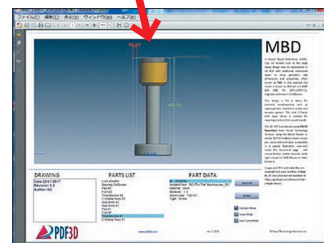
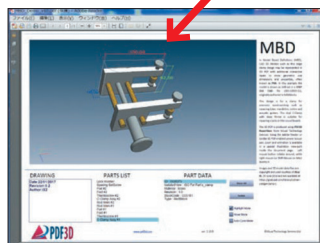
- PDFの文章の中に、3次元形状のデータを組み込んだものです。無償の Acrobat Reader で表示すると、以下のことができます。
 - ・ 3次元形状をマウス操作で、回転／移動／拡大・縮小
 - ・ 一部の部品のみを選択して表示
 - ・ 寸法表示や、注釈の表示
 - ・ マウスによるピックで距離を計測
 - ・ アニメーション表示

PDFの画面で3次元形状を簡単にマウス操作し回転などが可能



◆ 主な利用用途

- 製品カタログ、プレゼン資料
- 機器の修理、メンテナンス用資料
- 機器の操作マニュアル
- シミュレーション結果等の技術レポート
- その他、各種報告書



（データ提供：VTSL）

3種類のツールがあります

1) データ変換ツール **PDF3D ReportGen**

- ・ 3次元幾何形状データを読み込み、3D PDFに変換します。
STL, DWG, IGES, STEP, IFC, VRML, OBJ 等 80 種以上の形状フォーマットに対応しています。
- ・ 360度パノラマ画像に対しては、インタラクティブな操作を可能にします。
- ・ あらかじめ、バンドル提供の PDF3D with OFFICE（プラグイン）を使って、Word, Excel, PowerPoint の文章の中に 3D データの表示領域を指定し、その領域に PDF3D ReportGen を使って 3D データを埋め込むことが可能です。

2) 汎用ポストプロセッサ **ParaView のプラグイン PDF3D PV+**

- ・ フリーのポストプロセッサ ParaView で可視化した結果をそのまま 3D の PDF に出力します。

3) 開発キット（ライブラリ）**PDF3D SDK PRO**

- ・ プログラミングにより、自作のアプリに 3D PDF の出力機能を追加することが可能です。
PDF の中に独自の操作メニューを追加することも可能です。

以下の特徴があります。

・ 優れたデータ圧縮

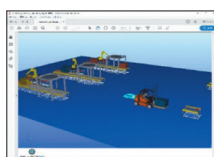
品質を保ちながら、元の 3次元形状ファイルよりも大幅にファイル・サイズを削減できます。（特許取得）

・ 簡単に使える

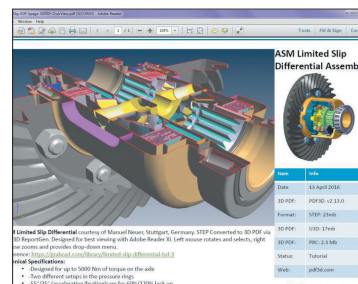
簡単に操作できます。アニメーション作成も可能です。（Acrobat Pro は不要）



住宅（提供：Deep Interface）



工場のシミュレーション
（提供：Emulate3D Ltd.）



機械部品（提供：VTSL）

販売価格

個別見積

商品番号 1002199

PDF3D